



中央建設株式会社 記念誌





代表取締役
岡本 靖磨呂

私ども中央建設は昭和 36 年に創業し、昭和 46 年中央建設を設立致しました。

お蔭様で創業 55 周年を迎えることが出来ました。これもひとえに関係各位のご支援ご指導の賜物と厚くお礼申し上げます。

昨年 11 月、秋の叙勲「旭日双光章」を受章致しました。「私でよいのか」と戸惑いもありましたが、今までの私たちの歩みを認めて頂いたのだと思い、素直に有難くお受けしました。

設立当初は地元の老舗の大手建設会社に囲まれ人手不足にも悩まされる毎日でしたが、時代の流れとともに進化すること、分が悪い仕事でも他社が嫌がる仕事でも真面目に取り組んでいくこと、また健全な関係を築き常にスキルアップを目指すことなどを目標に邁進してまいりました。

社員には「自分に与えられた仕事だけをするのではなく、誰が何をしているか、結果がどうなったかきちんと把握すること。これからやりますというのは信用ではない。やってきた実績や結果が信用に繋がり、その信用を積み重ねていくもの。一人ずつが責任をもって自身を磨いてレベルを上げ、精神力を高めること。要は『やる気』を出して仕事に真摯に向き合う大切さ」を言ってまいりました。

公共事業の発注が少なくなってきた昨今、同業者と共に互いに譲り合い、助け合い、業界を盛り上げていきたいと考えております。

我が社においては、お客様に感謝してもらええる仕事を行ってまいります。

そのためにも受けた仕事を事故なく正確に仕上げてゆく心構えが必要です。チームワークが悪ければ重大なミスが起こります。社員間の連携を密にとり、ミスのない管理システムを作り上げて、会社として責任ある管理体制を構築してまいりたいと考えています。

近年大きな災害に見舞われた日本のためにも、今後は災害対策にも目をむけ社会貢献に取り組み、人助け・弱者の味方になればと思います。岡山県でも何時・何処で災害が発生するか分からないので心構えと機動力の準備をしておく必要があると思います。

何事も最後まで諦めず日々技術の向上、自身を磨くことは自分のためだけでなく会社のため社会のためになると信じています。

今まで支えてくれた社員の皆様、関係各位の皆様に心よりお礼申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

座右の銘

道義的真實一途

常務取締役 井上 泰弘



創業 55 周年を迎えるにあたり、これまで長きに亘り、弊社をお支え下さいました皆様方に心より御礼を申し上げます。

弊社は、まだまだ発展途上の企業です。その意味で、55 周年そのものを未来に向けての飛躍と転機の節目として、初心に立ち返って更なる精進を重ねて参る所存でございます。

現在、建設業界のおかれている環境は非常に厳しく、建設業の社会的地位の向上を達成する為、社会貢献活動・安全衛生活動・法令遵守に努め、常に改善を行って参ります。

また、本日を、「第 2 の創業期」として位置付け、社員一同精進を重ね、「安全・品質・技術・人材」の中央建設を目指して取り組んで参る所存でございます。

今後とも一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後になりましたが、協力会社の皆様、並びに弊社グループ企業の役職員の皆様に感謝申し上げ、創業記念のご挨拶と致します。

総務部 部長 井上 敬弘

わが社は創業 55 周年を迎えることができました。

岡本社長、そしてその社長を支えて下さった従業員の皆様のお蔭でもあります。

私自身入社当時は建設業の“いろは”も知らず戸惑いや失敗も多々ありましたが、約 15 年経過し、ようやく皆さんのお役に立つことができるような気がします。本社で総務の業務に携わっておりますが、本社、現場の垣根を越え、後輩からも先輩に意見が言える風通しの良い会社にしたいと思います。

諸先輩方が築いてきた中央建設の立派な土台を元に大きく発展し 60 年 70 年そして 100 年と繋げていきたい思います。

顧問 北本 旨利

私が当社に勤め始めてから 16 有余年の歳月が経ちました。その時から在籍した建築分野においても仕事量、職員数共に格段に増えています。

創業以来、社長の経営理念の基、55 年の歳月を経るなか、着実に今日に見る発展をとげ倉敷の業界に不動の地位を築いておられる事、深く敬意を感じております。

今、一億総バスの時代、日本再生、地方再生が叫ばれていますが、日本人の誰もが大切、どの地域も大切という事が改めて問われているように思います。

中央建設の着実な歩みは地元倉敷の発展につながり、そこに働く人々の元気につながり、ひいては日本の元気になっていく事と思います。

今後も当社が地元業界の中核となって、重責を担い益々発展するよう心より願っております。

総合工事事務所 建築部本部長 渡邊 淳司

創業 55 周年を迎えられ、誠にありがとうございます。この日を迎えることが出来たのは、ひとえに社長はじめ、社員各位の一日一日弛まない努力の賜物と敬意を表します。私も当事者の一人として、この場にいられることに喜びを感じております。

私事で恐縮ですが、以前某建設会社にて在籍の間、協力企業としてお世話になりました。卒業したら微力ながら報いるため、手助け出来ないかと思っておりました。

さて我々社員が、今この時出来ることは、直面する問題を乗り越えチャンスを掴むため、必要な知識と経験を身につけることではないでしょうか。いざチャンスが来た時にすぐに立ち上がる知識や技術が無くても、そのチャンスを逃します。その身につけた技術力を共有することで会社全体のレベルアップが出来ます。小さな事から芽が成長し会社の財産になり、会社発展に繋がると信じ、自分の役割だと考え、微力ながら実践してきました。

皆様の努力で、今年建築のランクが上がり特 A になりました。今後維持向上の尽力も必要です。その為にも若手技術者の確保、建築営業の人材も急務です。社員には役割があることを理解して自発的に行動する力を更に身につければ、この競争社会の中にあっても必ず生き抜ける会社となり、今後のわが社の発展に繋がることと信じています。

総合工事事務所 土木部長 牧田 昭

中央建設創業 55 周年を迎えられることを心からお祝い申し上げます。月日の経つのは早いもので私も入社して 40 年近くになりますが嬉しい事、辛い事と色々たくさん有りました。入社当時は一人の職員だけでした。又、資材購入も現金が多々あり、時には協力会社に立て替えてもらうことも有りました。徐々に受注も増え、社員も何人か入ってきましたが、複数の現場を掛け持ちしたり、検査書類を作成しつつ、次の仕事の準備をする事も何回かありましたが、現在は、社員も増え、大型受注も多く、当時に比べ、すばらしい発展ぶりに敬服するばかりです。

昨年は社長が勲章をいただかれ、今年は中央建設の創業 55 周年と慶事が続いており、頑張っていればいいことが必ずあるんだと改めて実感しました。まだまだこれから社員一同団結し、今以上に立派な会社にする事を強く願っています。結びとなりますが、皆様のご多幸と中央建設の益々のご発展を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

工務部 顧問 横畑 廣顕

中央建設創業 55 周年式典おめでとうございます。

皆様とお祝いできるのも、岡本社長・井上常務をはじめ、皆様との日夜をいとわぬ努力の結晶と確信いたしております。

36 年を振り返れば、苦しく辛いこと、楽しいことがつい昨日のように懐かしく思い出されます。

土木・解体業務では、旧国鉄の仕事で、防寒着に霜が降りてくる真冬の夜間に、踏切工事、レール交換工事を行いました。また真夏の落石防止工事で、コンクリート材料など背負って山を登ったことがあります。解体工事では、角鋼管を加工した 15m の竿・先端には破碎機を取り着けたハイリフトを造りました。これは当社のハイリフト 1 号機であり、ホテル石山花壇解体工事で(オペレーターは渡辺幸光君)でお目見えしています。渡辺君の苦悩の顔が今でも浮かんできます。社会が注目するチボリ公園の第 1 回造成工事の入札では、発注者様のミスで落札を取り消され社長と二人で、発注者様とマスコミの対応に、寝食を惜しんだ丸二日間を過ごしました。

これからも中央建設が、現状に甘んじることなく、お客様を大切に、地域の方々に愛される会社として、飛躍・発展するよう一致団結して頑張っていきたいと思います。

工務部 部長 時本 雅人

中央建設(株) 55 周年おめでとうございます。

私は、平成 21 年に入社してもう 7 年になります。この記念すべき 55 周年の節目に在籍していることへの喜びと、これからの中央建設(株)を盛りたてるための責任の重さに改めて身の引き締まる思いであります。

また、中央建設(株)の魅力は関連会社トーヨー商事(株)、倉敷企業(資) 2 つの将来を期待できる産業廃棄物処理場を保有していることです。

我々は、この 2 社と協力して、売上げを伸ばし、経常利益を確保して、会社の繁栄と共に、社員の幸福を実現し、社会に貢献できる企業を目指していきます。

そして諸先輩方が築いてこられた中央建設(株)の名を汚さないよう、全員一丸となって目標を目指していきたいと思っております。

最後に、何事を行うに当たっても、思無邪「思い邪(よこしま)無し」の精神で。

温故知新

	中央建設(株)	関連会社	世の中の出来事
昭和33年	未来に翔く 	井上牛乳販売業 クローバー牛乳 雪印牛乳・アイスクリーム販売 マルイ物産 創立 食品製造販売 (ソーセージ・レトルトカレー) 砂船・サルベージ	東京タワー完成 1万円札発行
昭和34年		マルイ物産 設立 砂船買取2隻 マルイ興産 創立 製箸工場(鴨方) 井上組創立(のち株式会社井上組) 海運業砂利採取販売 (阪神・四国)	伊勢湾台風 昭和基地に置き去りのタロとジロ の生存確認 個人タクシーが登場 皇太子(今上天皇)と美智子様 御成婚
昭和36年	個人 中央建設 創業 (のち 中央建設株式会社) 大林組・熊谷組・銭高組・日 産建設 労務者提供下請け 民間工事請負	進水式 靖貢丸・第二靖貢丸・ 第三靖貢丸 東京湾進出 (昭和36～37年)	NHK朝の連続テレビ小説放送 開始 農業基本法が成立
昭和38年	中庄黒崎 土地造成	株式会社井上組 設立	ケネディ大統領暗殺
昭和39年		倉敷企業合資会社 設立 高梁川砂採取販売業(販売先— 倉敷・水島地区) 海運業・宅地・分譲	東京オリンピック 東海道新幹線開通
昭和40年	中庄黒崎 宅地造成	備中組 設立	ザ・ビートルズ日本初公演
昭和41年		倉敷住宅有限会社 設立 注文住宅、宅造、分譲	トヨタ自動車と日野自動車が業 務提携
昭和42年	中庄 造成工事 新日本開発 福島 土地造成(倉敷住宅の土地) 中庄 金住池道路新設工事	内海開発有限会社 設立 有限会社倉敷中央会館 喫茶ロンド・レストランニュー クラシキ・ふぐ扇・寿司靖	東南アジア諸国連合(ASEAN) 結成 三市合併(倉敷・玉島・児島)
昭和43年	中庄 金住池道路新設工事 玉島 白銀山病院	倉敷企業 主に宅地造成	川端康成がノーベル文学賞受賞
昭和44年	福島 土地造成 (倉敷住宅の土地)	旭ヶ丘に井上橋竣工 喫茶アポロ	アポロ11号が人類初の月面有 人着陸
昭和45年	玉島 白銀山病院		日本万国博覧会(大阪万博)開幕
昭和46年	中央建設株式会社 設立 資本金300万 建設業登録 岡山県知事登録 (わ)第4035号新規取得	倉敷企業 建物解体整地を営業 とする	NHKが全番組カラー化 カップヌードル発売
昭和47年	本社住所が倉敷市前神町263 番地より中央1丁目6番24号 に変更 倉敷市 新田地内バス停設置工事 (倉敷市の仕事初)	株式会社トーヨー商事 設立	米から日本へ沖縄返還(沖縄県 発足) 新幹線 新大阪・岡山間開業 浅間山荘事件
昭和48年	建設業許可取得 般482339号新規取得	倉敷企業 旭ヶ丘造成工事完成	日本赤軍、ドバイ日航機ハイジャック 事件
昭和49年		(株)井上組廃業	長島茂男(巨人)現役引退
昭和50年	三軌建設の下請け 船穂町 新幹線受託事業 (船穂町の仕事初)	旭ヶ丘残土捨場	山陽新幹線の岡山・博多間開業

	中央建設(株)	関連会社	世の中の出来事
昭和 53 年	岡山県建設業協会加入	産業廃棄物収集運搬業及び最終処分業（安定型処分場）旭ヶ丘 新規許可取得	北京で「日中平和友好条約」に調印
昭和 57 年	資本金 1,200 万円		日本電信電話公社、テレホンカード発売
昭和 58 年	岡山県知事許可 特-58・第 2339 号 新規取得		日経平均株価が初めて 1 万円の大台突破
昭和 59 年	産業廃棄物収集運搬業許可取得		豪からコアラ 6 頭が贈られて日本に初上陸
昭和 60 年	資本金 2,000 万円（従業員 40 名）		日航ジャンボ機墜落事故 任天堂 スーパーマリオブラザーズ発売
昭和 62 年	資本金 4,500 万円	株式会社堀工務店 買収	国鉄民営化
昭和 63 年	岡山本店を岡山市に設置	中央道路株式会社 設立	瀬戸大橋が開通
平成 4 年		なんでも中央有限会社 設立	
平成 5 年		最終処分（安定型処分場）及び中間処理（破碎）大平山 追加 中間処理（焼却）黒石 追加	皇太子・雅子様御成婚 細川政権発足
平成 6 年		備中興業有限会社（備中組から社名変更） 有限会社角龍建設 設立	長野県松本サリン事件 関西国際空港開業
平成 7 年		最終処分（安定型処分場） 弥高山 追加	阪神淡路大震災
平成 9 年	資本金 8,000 万円（従業員 90 名）	中間処理（破碎）弥高山 追加	倉敷チボリ公園開園
平成 10 年		最終処分（管理型処分場） 弥高山 追加	長野オリンピック開催 郵便番号 7 桁化
平成 11 年	岡山県知事許可 般-11・第 2339 号新規取得		イオンモール倉敷 OPEN
平成 13 年	ISO9002 認証取得 土木部門 資本金 1 億 4,600 万円		米同時多発テロ事件
平成 15 年	ISO9001 認証取得 土木部門		イラク戦争開戦
平成 16 年		中間処理（破碎）黒石 追加	日本で新紙幣発行
平成 17 年		一般廃棄物処分業新規許可取得（木くず） 中間処理（選別）弥高山 追加 中間処理（破碎、圧縮固化） 弥高山 追加	JR 福知山線脱線事故 晴れの国岡山国体開催
平成 18 年		倉敷企業(資)・(株)トーヨー商事 ISO14001 認証取得 処分業登録	地上デジタルテレビ放送が全国で放送開始
平成 19 年	沖事務所から西中事務所に移転		新潟県中越沖地震 郵政民営化
平成 23 年	西中事務所から吉岡事務所に移転	倉敷工建有限会社（角龍建設から社名変更）	東日本大震災
平成 25 年		倉敷企業(資)・(株)トーヨー商事 ISO14001 認証取得 収集運搬業を追加登録 倉敷企業（資） 優良産廃処理業者認定制度 優良認定事業者認定	富士山が世界文化遺産に登録 TPP 参加表明

団 体 歴

昭和53年	建設業協会加入
平成5年	社団法人 岡山県建設業協会 倉敷支部 会計 社団法人 岡山県産業廃棄物協会 副会長（平成22年度まで） 社団法人 岡山県産業廃棄物協会 倉敷支部 支部長
平成6年	社団法人 岡山県建設業協会 倉敷支部 理事
平成7年	倉敷商工会議所 建設部会 副部会長
平成8年	岡山建設副産物再生資源協同組合 理事長
平成10年	社団法人 岡山県建設業協会 倉敷支部 副支部長 建設業労働災害防止協会岡山県支部 理事・倉敷分会 副分会長
平成16年	倉敷商工会議所 建設委員会 委員長
平成18年	社団法人 岡山県建設業協会 倉敷支部 支部長1期目
平成20年	社団法人 岡山県建設業協会 倉敷支部 支部長2期目
平成22年	社団法人 岡山県建設業協会 倉敷支部 支部長3期目 社団法人 岡山県産業廃棄物処理業協同組合 理事長
平成23年	社団法人 岡山県産業廃棄物協会 会長（平成26年度まで）
平成24年	社団法人 岡山県建設業協会 倉敷支部 支部長4期目
平成26年	一般社団法人 岡山県建設業協会 副会長1期目 一般社団法人 岡山県建設業協会 倉敷支部 支部長5期目
平成27年	一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会 顧問
平成28年	一般社団法人 岡山県建設業協会 副会長2期目 一般社団法人 岡山県建設業協会 倉敷支部 支部長6期目

賞 歴

平成 5 年 5 月	社団法人 岡山県建設業協会会長	事業経営の合理化及び技術の向上に尽力した功績	中央建設
平成 6 年 5 月	社団法人 全国建設業協会会長	事業経営の合理化並びに工事費の適正化に尽くした功績	中央建設
平成 6 年 6 月	社団法人 全国産業廃棄物連合会	地方優良事業所	中央建設 倉敷企業 トーヨー商事
平成 7 年 6 月	社団法人 岡山県産業廃棄物協会	功労者表彰	倉敷企業
平成 9 年 6 月	社団法人 全国産業廃棄物連合会	功労者表彰	倉敷企業
平成12年12月	厚生省生活衛生局長	感謝状・多年に亘り産業廃棄物処理関係業務に携わり、適正処理の推進と業界の指導育成を通じて産業廃棄物行政への協力に努めた功績	倉敷企業
平成15年 4 月	倉敷市長	感謝状・倉敷駅前バスセンター内エレベータ設置工事の施工、完成、供用開始式にあたって	中央建設
平成15年 5 月	倉敷市大高幼稚園長等	感謝状・大高幼稚園新園舎建築工事において、優秀な施工をした功績	中央建設
平成16年 3 月	総社市長	感謝状・市道美袋槻線橋梁設備の施工、完了	中央建設
平成16年 4 月	真備町長	感謝状・真備町公共下水事業の施工において、事業の完成に寄与した功績	中央建設
平成16年 5 月	社団法人 全国建設業協会会長	特別功労表彰・永年建設業団体の役員としてその職に尽瘁した功績	中央建設
平成16年12月	真備町長	感謝状・琴弾橋建設工事の施工において事業完成に寄与した功績	中央建設
平成17年11月	岡山県中小企業団体中央会	組合役員として、組合の発展と中小企業に振興に尽力した功績、会の創立 50 周年にあたって	中央建設
平成18年 7 月	岡山県知事	建設業関係功労者表彰 公共事業の推進に貢献、業界発展のための貢献	岡本靖磨呂
平成18年10月	独立行政法人 勤労者退職金共済機構理事長	本制度の趣旨の徹底と、加入の促進に尽力、建設産業の発展と労働者の福祉の増進に寄与した功績	中央建設
平成19年11月	岡山県知事	環境おかやま大賞・循環型社会形成の推進に努めた功績	岡本靖磨呂
平成21年 7 月	国土交通大臣	国土交通大臣表彰 多年建設業に精励するとともに、関係団体の役員として地方業界の発展に寄与	岡本靖磨呂
平成21年 9 月	日本商工会議所	感謝状 倉敷商工会議所の役員・議員として二十年の永きにわたり商工会議所の発展に尽力した功績	岡本靖磨呂
平成21年10月	環境大臣	環境大臣表彰 循環型社会形成の推進に尽力した功績	岡本靖磨呂
平成21年11月	岡山県知事	岡山県知事表彰 建設雇用改善優良事業所	中央建設
平成23年10月	中央労働災害防止協会 会長	緑十字賞 産業安全及び労働衛生の推進に尽力	岡本靖磨呂
平成24年 2 月	国土交通省中国地方整備局	感謝状 平成 23 年に台風が西日本を襲った際の災害の応急対策に対応し災害の拡大や二次災害の防止に貢献した功績	中央建設
平成24年12月	厚生労働大臣	厚生労働大臣表彰 建設労働者雇用改善優良	中央建設
平成25年 5 月	公益社団法人 全国産業廃棄物連合会	感謝状	岡本靖磨呂
平成25年11月	岡山県暴力追放運動推進センター 名誉会長 岡山県警察本部長	暴力追放運動に積極的に取り組み明るく住み良い地域社会づくりに多大な貢献をした	岡本靖磨呂
平成27年11月	日本国天皇	秋の叙勲 旭日双光章	岡本靖磨呂
平成28年 7 月	国土交通省中国地方整備局長	安全管理優良請負者表彰 工事名：高梁川上流維持工事	中央建設

中央グループで一丸となって頑張っていきます いつまでもお元気でたのしい話や会社のノウハウを教えてください。会社や社長に少しでも恩返しできるように頑張ります 靖磨呂の磨は百戦錬磨の磨です 地道に、ねばり強く『改善』を積み上げて行きたい 社長様全社員の為にも身体を大切にしながら共に尽力をお願い致します。 次の目標は100周年ですね!グループみんなで頑張っていきましょう!!

社長の「人の後は歩かず危険でも先を歩く」という精神、人の嫌がる事でも率先して引き受ける器の大きさ、心の底から尊敬しております。死ぬまで働きます!宜しくお願いします! この度は55周年おめでとうございます。上司や先輩方に指導して頂きながら色々な経験を積み、仕事を続けられて幸せです。これからもよろしくお願いします これからも社員一同会社発展と共に建設業として社会貢献できるよう頑張ります。益々お元気で過ごして下さいますよう心からお祈り申し上げます。 社長にはまだ元気で頑張ってほしい。これからたくさんのことをもっと覚えていきたいと思っておりますのでこれからもよろしく

お願いします 造る、壊す、再生、再利用の基本理念のもと各部署の連携により今まで以上の力を発揮できるものと信じています まだ会社に入って3年ですが、諸先輩方の温かさで日々楽しく仕事をさせて頂いております。これもひとえに社長の人柄が会社に表れているのですね。これからも成長できる様日々頑張ります!!

社員が協力し働きやすい職場になるように目指したいです これからもよろしくお願いします

ます。一緒に頑張りましょう。 I

LOVE 中央建設 これからも中央建設のさらなる飛躍を目指して私も微力ではありますが頑張りたいと思います。 中央建設及びグループ会社に今まで以上の貢献をしていきます 百年続きますように チームワークを大切にこれからも頑張ろう まずは60周年目指して頑張りましょう もっと会社に貢献できるようにこれからも頑張ります 我々も変わっていかねばならない、変わらなければ明日はない! 変化に対応できる会社が生き残る前進あるのみ! 益々の業績向上を目指して頑張りましょう これからもよろしくをお願いします 100周年200周年目指してがんばりましょう 意志あるところに道は開ける これからも会社

に貢献できるように頑張ります 社会に必要とされる会社で成長させていきたい! もう少し頑張らせて頂きます。 今後会社並びに社員一同成長し発展していくようがんばりましょう! 世間知らずの私を社長が拾ってくださって20年がたちました。恩返しができるようがんばっていきます。 会社に必要とされる人間になれる様日々精進致します。 会社に必要とされる人間になれる様日々精進致します 「一意専心」の志を持って誠心誠意頑張っていきます これからも会社に貢献できるよう頑張ります 資格を取れるように頑張ります。 これからも会社のために頑張ります これからの中央建設(株)の為、従業員一丸となり会社・社長の為に盛り立てていきます 今後も会社のために頑張りたいと思います これからもがんばっていき

と思います 中央建設 go-go (55) - と勢いつ様希望致します 55周年。私より年上です。一の無事故、無災害又顧客に信頼、満足いただける

けてガンバロー 組織を充実し飛躍できる歯車とし、今後も尽力いたします。 現場でよう努力します。 建築を伸ばそう!! 入社し

て約13年になります。当初は解体でお世話になり7年、その後建築へ移り5年となりました。解体での経験は建築でも充分生きています。その時の出会える仕事に感謝し、一意専心で取り組んでいきます。 微力ではありますが、会社の繁栄の為頑張って行きます。どうぞよろしくお願いします。 今後我が社発展の為に、建設業は受注産業なので!!

真の営業力の充実と技術力で勝ち抜こう!! これからも年中夢中で笑って現役精進いたします。 入社して10年過ぎました。

良い事悪い事が多々あったと思います。このことを糧に1級建設機械施工技士試験に合格できるように努力します 会社に貢献できるよう頑張ります。 自戒の念。いたづらに馬鹿を重ねることなかれ! 進取協働の姿勢で行こう。

どこまでも これからも60周年・・・100周年と一層飛躍発展されます様お祈りいたします。 若い力と中堅、ベテランががっちりスクラムを組んでやがてそれが功を奏し益々の企業の発展につながると期待しています。私もそれに向けて努力は惜しみません。併せて全社員の幸せも願っています。

社長の今迄の功績に恥じない様これからも協調性をもって仕事に励んでまいり

ます。 個人の能力より組織力 この日を迎える従業員の一人になれた事を嬉しく思います。私もより一層の努力

とレベルアップをして70周年80周年に向けて頑張っていきます。これから先も会社発展の為に尽力していきます。少しでも会社に貢献できるよう努めたいと思います。これからもよろしく御願います。私も社長様のおかげで入社約30年、高齢者になっても雇用していただき感謝しております。これからも御指導のほど宜しくお願い致します。明日を目指して今日を安全に羽ばたく。益々の御発展を心より御祈り申し上げます。長い間働かせていただき有りがとうございました。この恩は一生忘れません。退職した後も中央建設グループにいた事を誇りに思い頑張っていこうと思います。どうぞ社長にはいつまでも元気でいて下さいませ。本当にありがとうございました。中央建設で29年お世話になってます。これからも中央建設60周年70周年の発展の為頑張っていきます。温故知新。新たな発想を考え、生み出して常に変化を続けたいと思います。今後ともさらなる発展に貢献出来るよう技術力向上に努めます。更なる発展躍進に向けて頑張っていきましょう!! 努力を怠らない様に取り組んで行きたいと考えています。60周年に向けて安全第一でガンバリたい! がんばります。これからはみんなを引っ張っていける人材になります。中央建設の今後の発展を期待します。これからもさらに中央建設を飛躍させていきたいですね!!

資格の取得などスキルアップを図り頑張っていきたい。入社した時・・・すごく忙しかった。それからずーっと忙しい日々・・・

きっとこれからも忙しいんだろうなあ・・・ 忙しいって良いことですね・・・

中央建設60周年に向けて安全運転で頑張っていきます。無事故でいられる様尽力します。これからも六つの精進（努力・謙虚・反省・感謝・善行・感性）を心掛けがんばっていききたいと思います! がんばります!! これからも繁栄願ってます。いつまでも元気でいて下さい。一介の作業員として長年働かせていただきありがとうございました。これからも日々精進していききたいと思います。ますますのご発展をお祈りいたします。継続は力なり。55周年おめでとうございます。お陰様で世の中の移りかわりを感じながらも楽しく過ごせてこれました。ありがとうございました。創立55周年を迎えられた事心よりお慶び申し上げます。今後も社業の発展と共に地域に貢献される事祈念しております。これからも100年200年続きますようみんなでがんばりましょう。更なる発展に微力ながら貢献させていただきます。入社したばかりで、しばらくはご迷惑をおかけすることも多く、皆さまにいろいろご指導いただくことが多々あり

ますが、一日も早くお役に立てるよう真摯に努力してまいります。これからもがんばりましょう。

おめでとうございます。中央建設(株)が今後も発展しますように。これからも中央建設(株)が100周年に向けて一人一人が頑張っている部署創りに努めていきます。社長55年間お疲れ様です。また60年、70年と元気で祝いさせて下さい。会社に貢献します。良き先輩方の意志を引き継ぎ、そして後輩に伝え、若い世代でもっともっと中央建設を盛り上げ安全作業に協力します。おめでとうございます。社長と共に最後の力を今一度。岡山力アップに一致団結、自分自身の向上アップ!!

ます。55周年本当におめでとうございます。

ます。中央建設に27年間色々なことがあり

一の建設会社にいや日本一の企業に。個々の能

引き続き健康と無事故で頑張ろう。入社20年に

でとう。安全作業します。これからもがんばります。より一層がんばって下さい。倉敷の中央建設から岡山の中央建設へそして日本の中央建設へ! ますます社会に貢献できるようがんばりましょう。今までの実績に脱帽。これからの未来へ向けて脱皮!

中央建設もう55年まだ55年。未来へ向かう組織へ。100周年に向って前進して下さい。今後のさらなる

発展をみんなで頑張ろう。無災害を極める。『事故』『けが』のないようがんばります。55周年おめでとうございます。安泰な会社づくりで頑張ります。これからも会社のために頑張っていきたいと思います。

これからも工務部で利益を出すように頑張っていきます。祝・55周年!! これからもたくさんの仕

事を覚えて安全作業で取り組んでいきます。これからも当社のファンを増やすよう頑張ってい

ります。中央建設創業55周年誠におめでとうございます。55年。一口で言えば短い

55年。でも山有り谷有りの長い55年。みんなで築いた55年。これからは

貪欲に己の力で前進しよう(感謝の三十有数年でした)

社員一同

本 社

創業 55 周年おめでとうございます。

経理部 原田 修

輝かしい歩みの足跡をたどり、記念誌の 1 ページを記させて頂き、感謝申し上げます。

幾多の出来事を乗り越え、一代で、常に時代を先取りし、バイタリティ溢れる行動力で今日のわが社を築きあげてくれましたこと深く尊敬し、自慢の会社でございます。

私たち本社は、総務・経理・営業で構成されています。業務の内容としては、バランスシート(貸借対照表)で表される財産の管理・損益計算書で表される営業成績の管理が主なものです。時代の変化により建設業にとって厳しい環境が続くようになり事後的な仕事を中心であった部門ですが、将来のことを見据え、過去の数字の蓄積から精査・分析して将来企業経営に役立つデータを提供し、企業の安定的成長に貢献できる部門となるよう個々のレベルアップを図っていききたいと思います。

本社の総務・経理は硬いと思われがちですが、会社の人事・財務を預かっているわけですから、そういうイメージがあるかもしれません。しかし明るく面白い人が多い部署です。

「協力は最大の力を発揮する」という言葉を念頭に、各部署とのコミュニケーションを大切に考えています。

一步先を考えて、今以上に固い絆で結ばれていく会社を築いていきたい、そして工事現場や処分場がスムーズに回るように潤滑剤の役割を果たしていき、縁の下から支えられる部署にしていきたいと考えています。

営業部 星島 章宏

営業部では、公共工事或いは民間工事の情報収集、現場説明事項の確認、そして入札を行っています。最近では、この入札制度一つ取り上げても一般的な金額による落札者決定制度から総合評価制度に移行し、ユニットプライス時には、こなしきれない程の受注となった年や反対に少し制度が変わっただけで全く受注できない年とその時々により非常に大きな波があったような気が致します。“禍福は糾える縄の如し”とは上手く言ったもので、良い時もあれば悪い時もある。

しかしながら、自身の力を出しきることなく現状維持に、守りに入れば他社に追い越されます。いかなる時も改革改善に邁進し、時代の変化に流されるのではなく、それ以上のスピードで自ら流れて行けば、きっと素晴らしい未来が開けるのです。

昨今の建設業界を取り巻く環境は非常に厳しいものがありますが、社長・常務のご指導のもと中央建設グループ百数十名の力を一つに合わせれば、必ずや更なる発展を遂げるものと確信しております。

今後とも皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。



総合工事事務所

創業 55 周年おめでとうございます。

土木部 田中 秀章

吉岡総合工事事務所では、工事の積算、施工、営業を主な仕事としています。

部署＜人数＞は土木部：土木課＜12名＞、下水道課＜13名＞、建築部＜8名＞、積算部＜2名＞、営業部＜3名＞の計38名です。

工事は土木工事、建築工事の公共工事がメインで、民間工事も行っています。

その受注のための積算を積算部で行い、また、営業部は産廃関係の営業もしています。

工事の主な顧客としては、国交省（河川、国道、港湾）、農政局、岡山県、倉敷市です。

近年では、異常気象でのゲリラ豪雨、熊本では地震が発生しており、また、高度成長時代に造られた構造物、建築物の老朽化等の問題もあります。

それらの問題を、インフラ整備を行うことにより、安心して生活を営める環境を整える、重要な仕事であると認識して、全員仕事をしています。

工事における仕事の内容としては、発注者の仕様書に示された品質・規格を十分満足し、かつ経済的に施工するための管理を主に行っています。（下水道課は本体施工と管理を併せて行っています）

また、管理の内容は、施工管理、工程管理、安全管理、出来形管理、写真管理、原価管理等で、特に重要なのは、作業員及び第三者の安全を確保する安全管理であります。

我が国の社会資本整備を取り巻く環境は、依然として厳しい財政状況を受けて公共投資が減少している中、公共工事の受注は困難な状況です。

特に、国交省工事は、工事成績が良くないと次の工事の受注が難しく、厳しい状況となっています。

さらに、労働災害があれば、工事成績の減点となります。

そのため、次の工事の受注に向けて、下記の2項目を目標に施工しています。

1. 創意と工夫で顧客満足度の向上を図り、表彰を目指す。

2. 法令遵守に努め、ゼロ災害を目指す。

（発注者から、安全表彰は頂きましたが、優良工事表彰は、まだ達成していません）

新しい技術による施工管理が要求される今、ベテランから今までの技術を若手技術者に伝承し、また、新技術による管理を前向きに行うことにより、さらなる技術向上を図っていききたいと思います。



高梁川上流維持工事前

⇒



高梁川上流維持工事後



国道2号西大寺中野 IC 高架橋床版工事



水島港水島玉島地区臨港道路（玉島側）
取付部改良工事



高梁川連島排水機場吐出樋門新設工事



県立倉敷中央高等学校耐震補強等工事

工 務 部

創業 55 周年おめでとうございます。

石橋 雅彦

私は中央建設に入社して、30 年目を迎えました。
 仕事に就いて最初は不安なことばかりありましたが、いろんな経験をしてみて、上司や先輩がいかにか大きな存在だったか実感しました。
 今は工務部で様々な建物の解体工事を行っています。
 建物によっては複雑な構造体があり、すべて機械で解体が出来るとは限りません。そこで大事なことは、「人とのコミュニケーション」です。
 どのようにして解体を行うか皆で相談します。
 先行で危ない部分は人力で解体を行ったほうがいいじゃないかとか？
 お互いの意思の疎通を行って危険を回避して日々安全な作業に努めています。
 これからも日々努力し、「人とのコミュニケーション」の機会を増やし、少しずつでも周りをひっぱって行けるようにしたいと思います。

井上 達夫

我が社は、今年 55 周年を迎えました。
 私事ですが、私の年齢が 53 歳なので、自分の生きてきた年数よりも長くこの会社が存続してきた事を考えると感慨深いものがあります。
 我が社は建設機械を工務部 35 台、黒石処分場 30 台、弥高山処分場 29 台、大平山処分場 6 台、土木 4 台、総数 104 台保有しており、岡山県でもトップクラスの保有台数を誇っています。
 県内でも 2 台しかない地上 40m の高さまで解体可能な 100t クラスの ZX-1000K を始めあらゆる大きさの重機があり、工務部ではその重機を使用して、大きい物ではビルの解体から小さい物では木造家屋や内装の解体まで幅広い解体業務を行っています。
 このような解体作業の中で非常に重要な重機を、仕事の効率や安全上、比較的新しい機械を使わせて頂けることに一同感謝しています。
 しかし、法律の改正によるアタッチメントの取付制限への対応や、施工・工法の合理化の為、これから更に建設機械やアタッチメントの購入も必要となってきます。
 また、今後は階上解体やプラント解体の現場の視察等、県内外の同業者の施工方法にも目を向けていきたいと考えていますので、合わせてよろしくお願い致します。

今後も解体現場では第三者の方から苦情が出ないよう粉塵・振動等にも細心の注意を払い、安全第一の工事完了を目指したいと思います。そして、60 周年、70 周年とさらに会社が発展していくよう、工務部一丸となって技術の向上に努めて参りたいと考えています。



ZX-1000K (右)

収集運搬部・(株)トーヨー商事

創業 55 周年おめでとうございます。

三宅 進介

中央建設(株)収集運搬部門では、作業が困難な場所・手積み作業など、産業廃棄物の特徴に合わせた適正な車両を用いて、いち早くお客様のご依頼に対応できるよう努めております。

安全への細やかな配慮とこだわりが基本となり、岡山県全域・福山市のお客様からも高い信頼を頂戴しています。

これからも、皆様の暮らしと産業の現場をクリーンに保ち、適切に業務を遂行して参りたいと思います。

(株)トーヨー商事は、昭和 47 年 6 月に設立して以来主に、建設系産業廃棄物を総合的に受け入れております。廃棄物の減量化・リサイクルを推進し、処理に関する信頼性及び安全性を図っています。

又当社では、再資源化施設・改良土プラント施設により廃棄物のリサイクルに努め、多くの皆様にご利用いただいております。

これからも、産業廃棄物の適正処理の推進と循環型社会形成の一助となれるよう努力していきたいと思います。



改良土プラント施設

倉敷企業(資)・弥高山事業所

創業 55 周年おめでとうございます。

井上 正士

私達の事業所は玉島弥高山の頂上にあり、一年を通して四季折々のいろんな風景、風物が楽しめます。お客様が搬入された産業廃棄物が場内の各部署へ運ばれ、そこで細かく選別され、それぞれ最終処分されたりリサイクルされたりします。また、毎日変化する場内の景色を見ながら、埋め立てた後の土地の有効利用も試行錯誤しながら進めています。

さらに、毎日の業務の中で物や環境に隠れている危険性・有害性を減らすために、毎月一回の安全委員会と安全パトロールを実施し、「計画・実施・評価・改善」この過程を自主的に継続的に行いなが労働災害の潜在的危険性を低減するとともに、働く人達の健康の増進及び快適な職場環境をつくり、事業所の安全の水準向上に努めています。

このコミュニケーションの継続があるからこそ、今、働いている仲間の立っている場所は、それぞれ違うけれど向いている方向はみんな同じなんです。

そして、これからの時代の変化やお客様のニーズの変化に即応し、優良企業としての自覚と誇りを持ち、「適正処理」「安全第一」を考え、一人一人がレベルアップをはかり、人間として成長し、倉敷企業弥高山事業所の発展のために、社員一丸となって邁進してまいります。



大平山リサイクルセンター



固形燃料 (RPF)



木材チップ

安全衛生委員会

佐藤 誠二

労働安全衛生法等に基づき当社は安全衛生委員会の設置をしています。

委員会は毎月1回以上開催（通常、毎月最終金曜日18時より）しており委員は事業主が選任したものであり主に現場代理人・責任者などで構成しています。

委員会議事内容は

- ・ 災害事例
- ・ 法令遵守に関する事項
- ・ 安全パトロール報告
- ・ 衛生に関する事項
- ・ 事故報告
- ・ 安全目標の反省及び次月の目標設定
- ・ 事務連絡

などで、同時に現場ごとの工程会議も行います。

尚、委員会の開催の都度、議事概要を各部署長などにより社員の皆さんに周知していただくようにしています。

本年9月末時点での開催回数は312回となっています。

また年に一度、協力業者を含め安全大会を開催しています。



安全衛生委員会



安全大会

資格者数

従業員数 95 人
平成 28 年 8 月 31 日現在

施工管理技士等

1 級土木施工管理技士	31	2 級建築士	3
2 級土木施工管理技士	11	1 級管工事施工管理技士	0
1 級建設機械施工技士	9	2 級管工事施工管理技士	3
2 級建設機械施工技士	15	1 級造園施工管理技士	4
1 級建築施工管理技士	16	2 級造園施工管理技士	1
2 級建築施工管理技士	8	1 級舗装施工管理技術者	1
1 級建築士	4	2 級舗装施工管理技術者	0

資格

監理技術者資格者証	40	日本鉄道施設協会 工事管理者（在）資格認定証	2	主任計量者	4
技術士補（建設部門）	1	工事管理者（幹）資格認定証	1	建築積算資格者登録証	1
解体工事施工技士	12	特殊運転者等資格認定証 （重機械運転者）	5	第一種衛生管理者免許証	3
推進工事技士	5	西日本旅客鉄道㈱ コンクリート補修施工管理技士	1	特別管理産業廃棄物管理責任 者講習修了証	11
コンクリート技士	1	赤外線剥離検査技士	1	産業廃棄物処理実務者研修会修了証	11
甲種火薬類取扱保安責任者	4	木造軸組工法による耐火建築 物設計マニュアル講習会修了証	4	ダイオキシン類作業従事者特 別教育インストラクターコー ス課程修了証	1
乙種火薬類取扱保安責任者	2	岡山県震災建築物応急危険度 判定士	1	廃棄物焼却施設におけるダイ オキシン類対策に係る作業指 揮者養成研修修了証	5
危険物取扱者免状（丙種）	2	震災建築物被災度区分判定・ 復旧技術者証	2	石綿取り扱い作業従事者特別教 育講師養成講座修了証	1
給水装置工事主任技術者免状	4	S P R 工法施工監理技術者証	19	1 級建設業経理士	2
配水管技能者登録証	8	運行管理者資格者証	4	2 級建設業経理士	7
下水道排水設備工事責任技術者証	3				

技能講習等

ガス溶接技能講習修了証	19	床上操作式クレーン運転技能 特例講習修了証	2	アーク溶接特別教育修了証	7
地山の掘削作業主任者技能講 習修了証	15	車両系建設機械運転技能講習修了証 （整地・運搬・積込み用及び掘削用）	61	低圧電気取扱業務特別教育修了証	3
土止め支保工作業主任者技能 講習修了証	20	車両系建設機械運転技能講習 修了証（解体用）	31	ローラーの運転業務教育修了証	5
型わく支保工の組立て等作業 主任者技能講習修了証	8	不整地運搬車運転技能講習修了証	4	チェーンソー以外の振動工具 取扱作業者に対する安全衛生 教育修了証	10
足場の組立て等作業主任者技 能講習修了証	23	高所作業車運転技能講習修了証	13	石綿除去・改修工事現場管理 者講習修了証	1
鉄骨の組立て等作業主任者技 能講習修了証	10	フォークリフト運転技能講習 修了証	9	廃棄物の焼却施設に関する業 務に係る特別教育修了証	2
木造建築物の組立て作業主任 者技能講習修了証	1	玉掛け技能講習修了証	54	木造解体作業指揮者安全衛生 教育修了証	3
コンクリート造の工作物の解体 等作業主任者技能講習修了証	11	特定化学物質作業主任者・石 綿作業主任者技能講習修了証	8	職長・安全衛生責任者教育修 了証	19
第一種酸素欠乏危険作業主任 者技能講習修了証	3	粉じん特別教育学科講習修了証	2	石綿使用建築物等解体等業務 特別教育	22
酸素欠乏・硫化水素キケン作 業主任者技能講習修了証	6	15 号クレーン運転業務特別教 育修了証	3	伐木（70cm未満）特別教育修了 証	10
小型移動式クレーン運転技能 講習修了証	33	移動式クレーンの運転の業務 特別教育修了証	4	自由研削用砥石の取替特別教 育修了証	6
		建設用リフトの運転講習修了証	2		

インタビューより

三宅 進介



田舎から出てきて、まだ世の中の事をよく知らなかった20歳の頃、住むところもなく、「うちへ来て働かんか」と、拾ってもらったという感じで世話になったんです。

そして、今まで44年間お世話になりっぱなしです。

社長は負けず嫌いで意地っ張りで怒るときは厳しく怒るけど、後から必ず何か優しい言葉をかけてくれたり、本当にかわいがってもらいました。

社長のところで牛乳配達していた頃、夜遊びばかりしていて、配達の途中居眠り運転で、車ごと六軒川へ落ちてしまい、何百本も積んでいた牛乳瓶が割れて川一面真っ白に。車を引き揚げなければと、社長に来てもらっても狭い道で重機も入らず、その日は仕事を休んでみんなで人力で車を引き揚げてもらった。牛乳を何百本も損させたので、賃金はもらえないと思っていたら、その月の賃金はちゃんと出してくれました。

ある時内緒で、社長の車で夜中走って、ガソリンを空にした。朝、社長がガソリンがなくなってるのに気づいても、「遊ぶのはええが、ガソリンは入れておいてくれ、仕事に間に合わん。」で済ましてくれた事も。

又ある時は、コンクリートの溶液の傍へ車を止めて、バックヘギアを間違えて入れ、そのまま車ごと溶液の中へ真っ逆さまに落としてしまった。

これは怒られるわぁと思いながら社長に言うと、その時社長が言った言葉が「車が壊れるのは仕方ないけど、お前の命はお前の親から預かっとなるのだから。」と。

そんなことがいろいろ有っても、使ってもらい、迷惑ばかりかけていたのが、現場の責任者になり現場をもたせてもらえるようになりました。

現場に行っても社長のおかげで、中央建設だからと皆さんから協力してもらえたし、良く言ってもらえ仕事がやりやすかったです。

船穂の現場で、地元の人から道が悪いところがあるから、コンクリーを打ってもらえないと言われて、量が少しでも手間がかかり余分にお金がかかると思い、社長に相談すると、「少々のもんなら打つといてあげたらいい。世話になる事もあるのに、そのくらいのことは自分で判断しろ。」と、逆に叱られました。現場での小さなことをいうこともあったのですが、「細かな事ばかり言うな」と、よく叱られました。そんな寛大なんです、社長は。

今の私の家も社長に言われて建てる決心がついたんです。

私は死ぬまで社長に対し、ありがたいという気持ちは忘れません。

人から頼まれたら嫌と言わないのが社長なので、金を借りに来た人に自分は利子の付く金を借りて、貸した人からは利子をもらわんのだから、それが不思議でした。

社長は賭け事が嫌い、賭け事で負けて金を借りに来ても貸さない、商売かなんかで金が要るから貸してくれと言われたら喜んで貸してやるのにと。それでも、賭け事で金を借りに来たのに貸してしまう。それも自分は利子を払って、不思議でならなかった。

普通の人間とは考えが違う。社長自身困っていた時に、人に助けてもらったり、協力してもらって嬉しかったのが忘れられないので人にもそうしているのだと思う。要するに人が困っていたらほんとにけん性分というか、それだけ人間が大きいのであります。

いろんな業界の会合なんか一緒に行く時もあったんですが、みんな同じように座って、体の大きい人もいるのに、社長は知っての通り体は小柄なのに、それが大きく見える。貫禄が違う。私はよく人に言っていたんですが、「社長は体は小さいけど、考えが違う。人に対する包容力が大きい。だから大きく見えるんだろうなあ。」周りの人が小さく見えたのもよく覚えている。肝が据わっているのか、全然違ってました。

社長も苦勞の時があって、牛乳の販売をやっていた時、古い牛乳をパンの端と一緒に食べたとか、苦勞していた時もあったようです。

人を使うのもうまい。社長が先頭きってやるから、我々はやらざるを得ん。現場で一番になってやるから帰られちゃせん。社長がなんかやると言ったら、団結力が一番高まるんです。

世の中に、社長とか上の者の悪口を言うところもあるけど、うちの社長の悪口を言うものはおらん。感謝しとると言う者はたくさんおるが。社長の面倒見がいいからみんなそうなんだろうと。社長は人の世話ばかりで、それが社長は社員がそれで幸せならそれでいいんだと、そのお陰で、私も救われて。

社長には恩返ししたいけど、返すものがないから真面目に働いていく以外ないと思っています。

社長のことは1冊の本になるくらいです。

知人からのメッセージ

浅野 鶴子

中央建設創業五十五周年おめでとうございます。

秋の叙勲旭日双光章おめでとうございます。

今から六十年位前、私が中学から高校の頃のことです。

靖磨呂様は、中学校では成績優秀であられたのに、お父様が体をこわし、病弱だった為に義務教育だけで、高校へは行かなくても良いと言われたそうです。とても悔しくて、辛い日々を過ごされていたようです。結局、玉島の夜間高校へ行かせてはもらえましたが、中学校の時の友達には、誰とも会いたくなかったようです。

そんな時に、私の家に来られるようになりました。

夜間高校の帰りに、

「灯りがついていたので、寄らせてもらいました。」

と、来られ、色々と母に話を聞いてもらっていました。家に帰っても、寂しく辛かったから、私の家に寄るのが楽しみだったと言っておられました。少し照れくさそうな顔で笑いながら話されていた顔が、今でも思い出されます。私も一緒に話を聞くのが楽しみでした。私の母は、誰からも好かれ、慕われていました。神様のような人だと言われていました。母のやさしさにつつまれ、心の安らぎを感じられていたのでしょう。

靖磨呂様は、朝早くまだ皆が寝ている時間に牛乳配達をし、昼間は家の手伝いをされ、夜間高校へ通う。本当に、真面目で努力される人だなあと、いつも感心していました。

高校時代は、文学青年で、よく本を読んでいらっしゃったようです。そのことにより、沢山の知識を得られたのだと思います。

夜間高校の恩師守分先生の教えが大きかったようです。新しい事に挑戦し、前に進むようにという先生から学んだことを実行され、努力されたのだと思います。又、誰にも負けたくないという負けず嫌いの気持ちが強かったのだと思います。ご立派になられて、本当にうれしいです。亡き母もきっと喜んでいると思います。

これからも健康にご留意され、ますます御活躍されますようお祈り致しております。

～社長談～

高校進学は当たり前に出ると思っていたが、父と母が病弱だった為、叶わず、最終学歴は中学卒で充分だと父に言われ、断念した。



高校時代同級生

佐藤 徳重



- ・体が小さい。
- ・口を一字に結び大人のように見えた。
- ・目力があり、鷹のような眼。いつも何かを考えているようだ。
- ・重荷用の自転車に牛乳瓶を積み、よく仕事をする人だ。
- ・教室では分厚い本ばかりよく読んでいた。
- ・テストの時は色々お世話になった。
- ・意志は強そうで物怖じしなかった。
- ・話をしてみると非常に真直ぐで芯が強く見えた。
- ・商売を始めても金のことは大変であったと思う。
- ・昭和30年代は金を借りるのが大変難しかったであろうと思う。
若い20代では尚更のこと、特に苦勞したことと思う。
- ・靖貢丸進水時と銀行借入は大変値打ちがあった。
- ・保証人も4人の保証が必要だった。
- ・靖貢丸進水後ダンプ1台を増車する為、金を貸した事もあったし名前も貸した。
(株)井上組が廃業してずっと後に全額返済してくれました。
- ・私が困った時、相談にもいったが全部引き受け解決してくれた。知人の事で頼んだが断る事はなく、義理堅い男だと思っている。生涯の友として誇りに思っている。
- ・途中疎遠であったが、平和石油が昨年（平成27年）廃業する迄中央建設や倉敷企業で取引してもらって有りがたかった。

高校時代同級生

田辺 繁



井上君は体が小ぶりで、口は真一字に結び、非常に大人っぽく見えていましたが目は鷹のようで何かを考えている様に思えました。又授業中は雑誌（リーダーズダイジェスト・文芸春秋・オール生活・中央公論 等）ばかり読んでいたようでした。学校に来る途中同級生に会うのが嫌でコンプレックスがあると言っていました。特に女生徒に会うのが嫌だったみたいです。自転車が荷積用で牛乳ビンがガチャガチャ音がしていたからだとは思っていました。又意志は強そうで物怖じしなかったと思います。佐藤君によると商売において人の保証人になったり社員らにお金を工面しては苦勞したと言っていました。

井上君と私は社会主義思想に関心があり社会党の事で議論したり歓談したり、色々将来の事を話したのを思い出します。

なにぶん60年前の事で懐かしい限りです。

私は体調がすぐれず農業も今はやっておりませんが私の孫が、一昨年より東京で弁護士になり活躍しております。お互いに健康に留意してこれからは若い世代に期待をし、日本の行く末を見守りたいものです。

高校時代同級生

西山 一美

中央建設株式会社創業 55 周年記念おめでとうございます。

私は岡本社長と高等学校生活を共に過ごした仲間の西山です。

高等学校時代の事をお話しさせて頂きたいと思いますが何分にも卒業して 60 年が過ぎほとんど記憶にございませんが、鮮明に覚えている事がひとつだけあります。靖磨呂君は授業中はほとんど勉強しませんでした。いつも本ばかり読んでいました。しかし、いざテストとなるといつも立派な成績を取り、いつも満点に近い成績です。私は靖磨呂君は素晴らしい頭をしていると感心したものです。靖磨呂君は私の前の席でした。テストが始まるといつも答えを見せてもらい助けられた事を思い出します。いつも気持ちよく応じてくれる思いやりのある人です。

卒業して数年が過ぎた頃靖磨呂君とお会いする機会があり、当時私は大阪に住んでいました。出身は玉島です。

靖磨呂君より倉敷に帰ってこないかと声をかけて頂き倉敷に帰る決意を致しました。倉敷に帰る時は色々とお世話になり住宅や就職のお世話までして頂き本当にありがとうございました。私の基礎はこの時に出来たのです。靖磨呂君抜きに私の人生を語る事は出来ません。

従業員全員が正社員とお聞きして御社のような立派な会社はそんなにあるものではありません。社員の幸せは自分の幸せと思う社員想いの社長です。

皆様はこのような立派な社長と一緒に仕事ができること幸せと思います。

最後になりましたが皆様の健康と御社の益々の発展と繁栄を祈念致します。

～社長談～

西山さんの御長男は京都大学卒業後、東京吉祥寺病院の医師として勤めている。西山さんから「靖磨呂くんも少しゆっくりと老後の生活を楽しんで健康に留意して頂きたい」と言われた。しかしまだゆっくりする訳にはいかない。



元岡山県建設業協会倉敷支部 事務局長

田邊 泰之

中央建設(株)創業五十五周年記念誠にありがとうございます。

岡本社長におかれましては、社長ご自身の人情味溢れる人柄と卓越した先見性や開拓精神に加え、各界各層に人脈の多い中、建設業界におけるこれまでの活動状況・実績が評価されての昨年秋の旭日双光章受章、今年六月の岡山県建設業協会倉敷支部並びに一般社団法人岡山県建設業協会の役員改選においての六度目の支部長、二度目の副会長就任に続き、この度の御社創業五十五周年記念等慶事続きで誠に喜ばしい限りでございます。

ここに至るまでの道のりは決して平坦でなく、険しく、幾多の苦難を乗り越えて今日を迎えたものと深く敬意を表する次第でございます。

本当にご苦労様でございました。

岡本社長には、以前にもまして健康に十分留意されまして、役・職員一丸となって、地域に根ざした人々に愛され親しまれる企業として、未来に向かって限りなく発展されることを御祈念申し上げ、甚だ簡単ではございますが御社創業五十五周年記念における御祝辞とさせていただきます。



幼なじみ 赤澤 豊

創業 55 周年、誠におめでとうございます。
戦後の貧しい時代を共に学び、遊び過ごしたこと、特に高梁川の河原でのボール遊びや水遊びは今でも楽しい思い出です。

又、いつぞや会った時、バナナの話になったのですが、私はぜんぜん覚えてないんです。会社の方も一から始められて、いろいろ大変だった話もきかせてもらいました。船が沈んだこと、人手不足のこと、お金に困ったこと…ご苦労も多かったと思います。責任感が強く、信念を貫き通す姿勢が、現在の信用に繋がるものと思われま。御社のますますのご発展を祈念しております。

～社長談～

子供の頃バナナは高級品だった、赤沢さんがバナナを差し出して「やっさん先に食べねえ」とわしに先に食べさせてくれた。わしも遠慮すりゃええのに、子供じゃけん思いっきりかぶりついた、その後をゆうちゃん（豊さん）が食べる、そんなことがあった。なつかしい思い出だ。



(株)井上組元従業員

内田 茂男

昭和 34 年入社

高梁川の河口で小さなガット船富士川丸の船員として砂を採取して四国一円、福山にも積んで行った。社長は住力丸に乗って自分で舵を取って砂を採取していた。

昭和 35 年

高梁川のチャーター船 10 隻ぐらいが富士川丸と一緒に砂の瀬取りをして阪神方面の船に積み込んでいた。

昭和 36 年

私が乗ってない時でも社長は富士川丸に乗って高松に行っていたが、冬になると西風が吹いてよく海がしけて船が木の葉のように揺れていた。荒くれ船員達は沈没する心配で足が震えて途中で引き返そうと言って社長は自分で舵を取り高松へ行っていた。社長と一緒に乗るのは肝が潰れる思いだったと船員達は言っていたが、そうは言いながらも社長が先頭に立ってやるので船員達は「社長！社長！」と言って頼りにして指示に良く従うようになった。

昭和 37 年

阪神方面の船に瀬取りをして積み込んでいた。小さな船なので 3 回も 4 回も運んでいた。今までは木造船でしたが、社長が大型の鉄鋼船の靖貢丸・第 2 靖貢丸・第 3 靖貢丸の 3 隻を進水した。私は第 2 靖貢丸に乗って東京湾の工事に行った。

昭和 38 年

一時は東京湾で 3 隻揃って運航していた。横須賀へ砂を運んだり、横浜港では砂と石の採取運搬をしたり、護岸工事も行っていた。工事がなくて途切れ途切れで困った。

昭和 39 年

東京湾の工事が無い時には伊豆大島、三宅島へ材木・雑貨運搬をしていたこともある。

昭和 40 年

船の仕事が暇な時に採石場に手伝いに行った。

兵庫県上郡採石場で台風の影響で山が崩れ大変な事故に遭い九死に一生を得た。

倉敷に帰ってきてガット船で高梁川の砂を採取して倉敷・水島方面に販売していたと思う。

昭和 41 年

旭ヶ丘（鶯ヶ丘団地）に上がり川鉄や市内の盛土工事へ山土を 7・8 台の会社チャーターのダンプと一緒に持って行っていた。あと造成工事をしていた。その時造成工事で大発破をかけていた時事故を起こし、工事が一時ストップしたこともあったが、完成するまで続行した。

当時は重機が古かったので毎日故障していた。部品の取り替えや修理はオペレーターの仕事だったので作業服がグリース（油）まみれになって汚れて大変だった。

昭和 42 年・43 年

社長は当時、銀行からの借入もできない状況にあり、資金繰りにいつも困っていたが従業員はよく前借りをしていた。社長は何を頼んでも引き受けて解決してくれた。船員からダンプの運転手など多くの人が面倒を見てもらったので本当に色々大変だったと思うし、私も迷惑をかけた。社長には感謝している。

昭和 46 年

(株)井上組が廃業する前に私は辞め、自分でダンプを買って現在に至っている。





中央建設株式会社 創業 55 周年記念

平成 28 年 9 月 16 日撮影